



今月号のテーマは、「ストレスチェック」と「地域・保護者連携」です。今年度のストレスチェックの結果とよかった学校の共通点、地域や保護者との連携による働き方改革の推進の一例を紹介します。

## ① 年に一度の共有「健康リスク・負担感指数」の状況 「横浜市教職員ストレスチェック」

「横浜市立学校 教職員の働き方改革プラン」では4つの達成目標の1つである「健康リスク・負担感指数（ストレスチェックでは「量・コントロール」）」。

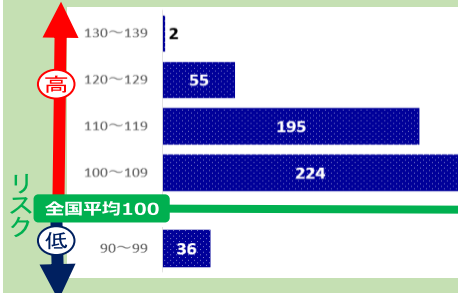
### 過年度との比較

「総合健康リスク」「量・コントロール」「職場の支援」ともに全国平均を100とし、数値が高いほどストレス度合いが高くなります。

量・コントロールは **変化なし**  
健康総合リスクは **リスク 高**

	RI	H30	H29	H28	H27
総合健康リスク	103	99	98	97	92
量・コントロール (健康リスク・負担感指数)	109	109	109	109	107
職場の支援	95	91	90	89	86
高ストレス者割合	13.7%	14.4%	16.4%	15.9%	12.2%

### 量・コントロール 度数分布 (校数)



「教職員の働き方改革プラン」の指標では、教職員の負担感を数値で表すために「量・コントロール」を使用しています。横浜市は、全国平均の100より毎年高い数字になっています。これは、仕事の量やその採配度を個々人がどう感じているかという数値であるため、物理的な量や時間数の減少が直接的に影響しているとは限りません。

【参考】「総合健康リスク」とは、「量・コントロール」と「職場の支援」から読み取った総合的な数値となります。今年度は数値が更に高く（悪く）なりました。職場における上司及び同僚の支援の特徴を判定する「職場の支援」が高く（悪く）なったことが原因の一つと考えます。

### 全国平均100よりよかった学校は？

**36校 (7.0%)**

小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
21校 (6.2%)	11校 (7.5%)	1校 (9.1%)	3校 (23.1%)

【小学校】上末吉・みなとみらい本町・本町・本牧・港南台第三・常盤台・新井・朝比奈・高舟台・能見台南・駒林・鴨居・すすき野・もえぎ野・藤が丘・奈良の丘・北山田・中和田南・和泉・葛野・阿久和  
【中学校】西・共進・宮田・都岡・浜・洋光台第一・洋光台第二・大綱・奈良・名瀬・中和田  
【高等学校】戸塚定時制  
【特別支援学校】浦舟・港南台ひの・北網島

### 昨年度より改善した学校は？

**249校 (48.4%)**

小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
160校 (46.8%)	77校 (52.0%)	4校 (36.4%)	8校 (61.5%)

### うち2年連続改善 108校

小学校：65校 高等学校：2校  
中学校：40校 特別支援学校：1校

※義務教育学校前期課程は小学校、後期課程は中学校に含みます。

### 結果がよかった学校※にヒアリングしました！

※「総合健康リスク」100以下、「量・コントロール」判定が95以下の学校

みなとみらい本町小・港南台第三小・常盤台小・新井小・北山田小・和泉小・阿久和小・西中・都岡中

### 共通していたことは、

- ①教職員の意見が出しやすく、反映しやすい  
例) ・会議の前にイントラネット等を活用して情報共有し、内容を確認した上で臨むので主体的に参加できる(会議等は一通り実施している)  
・物事の決定までの時間が短い(意見を出し、検討もしっかりしている)  
・教職員間で前向きに話し合う
- ②情報共有がしやすく、行き届いている  
例) ・職員室レイアウトを工夫(学年、低中高学年などのまとまり等)  
・「くつろぎスペース」を作り、情報交換の場に  
・自分で情報を取得できる環境に(グループウェア、共有フォルダ等の活用)  
・全教職員で情報交換(学校事務職員・技能職員・栄養職員等も一緒に)  
・時間外勤務や休暇取得状況を表にして教職員間で共有
- ③職場環境をよりよくすることに前向き  
例) ・「働き方改革プラン」を念頭に置き、取組一つひとつが自校で取り入れられるかを検討(アウトソーシング、学校行事見直し等)  
・朝練習は取りやめ傾向、部活動は部活動ガイドライン通り実施
- ④休みがとりやすい  
例) ・小学校で一部教科分担制を取り入れ、教職員の休暇に対応  
・変更対応の役割が明確に(快く対応してくれるので安心)  
・平常時から教職員全員で情報共有している
- ⑤時間を作り出す努力をしている  
例) ・積極的に職員室業務アシスタントを活用  
・一部教科分担制を取り入れ、授業を受けもたない時間に授業準備をする  
・学校行事等を見計らって「定時退勤キャンペーン」



教職員の急なお休みにも、対応できる

### 負担感を減らすために、組織として業務改善に前向きに取り組んでいる

～自分たちでできることを、みんなが考え、行動しています～

Topic

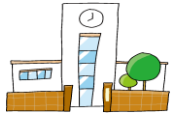
② 学校を支えてくれる地域の力で、働き方改革も推進

潮田小学校（鶴見区）

潮田小学校では、人のつながりを大切にした地域社会との連携が図られています。地域の「潮田共学舎」の方と互いの思いを伝え合いながら年数を重ねることができ、連携の仕組みがよりよいものになっています。

持続可能にするための仕組み～相談はこまめに・活動は一緒に～

学校：窓口は教務主任



「潮田共学舎」の定例会で  
活動依頼

「潮田共学舎」事務局



参加者の取りまとめ  
学校との連絡調整

登録者



ボランティア募集！  
登録者へメール配信

これなら  
参加できそう

得意分野に  
参加できる  
仕組み

やり方などは、  
一緒に活動しながら

「潮田共学舎」のみなさんと連携



プール清掃



校庭の芝の管理



全校遠足の安全見守り



「潮田共学舎」の方の声

子どもたちの笑顔で私たちは元気をもらっています。だから楽しくやりがいをもって続けられるのです。

★今年度お試して教室のワックスがけを依頼。  
⇒相談をして、今後の取組を決定



学校長

地域・保護者の方は、「学校と一緒に作りたい」「先生方に力を貸したい」と話していただいています。教職員は、教育活動に向けた時間を少しでも多く作ることができ助かっています。校内で活動している方々に、「ありがとうございます」と自然にお礼の気持ちを伝えている子どもの姿が多く見られ、心情面の育成にも力を貸していただいています。



教務主任

この仕組みを生かして、毎月の「音楽集会」の日に「ちょこっと掃除」の募集をしてもらっています。子どもの演奏を聴きに学校に来るついでにボランティアをしていただけるので、とても助かっています。

Topic

③ 保護者と協力して、働き方改革を推進

馬場小学校（鶴見区）

馬場小学校では、年間の行事を見直している中で、PTA 主催の「ふれあい祭り」について議論を重ねました。子どもたちの思い、保護者の思い、そして教職員の思い。どの思いも大切にした今年度の取組について紹介します。

「ふれあい祭り」



子どもたち

たくさんお店が出て、地域やおうちの人とのふれあいがとても楽しい

昨年度まで

- PTA主催
- 日曜日開催



保護者

ふれあい祭り実行委員は大変  
長年の伝統を残したい

しかし 教職員に手伝ってもらうのは忍びない



教職員

勤務日ではないが参加しないと申し訳ない  
参加する人が一部のみに偏る

消極的に

持続可能な「ふれあい祭り」にするために、PTAの実行委員と学校でたくさん議論！

今年度は、、、

時間を短縮し、コンパクトに

土曜参観日の午後に実施

- 勤務日なので全員参加となる。
- 月曜日は代休になり、教職員も子どもたちもしっかりと休めた。
- ある教職員に仕事が偏ることなく、全員で関わることができ、教職員の参加意識が高まった。
- 昨年度よりも子どもたちもたくさん参加して、祭りを楽しんでいた。



ふれあい祭り  
実行委員長

多くの先生方に参加してもらえて、子どもたちも大いに楽しんでいました。次年度も今年度のように、縮小してもできるプログラムにしていきたいです。

昨年度まで

教職員の劇  
実行委員のお店

負担軽減

今年度

当日イベントに  
飛び入り参加



学校長

教職員が協力できる方法に

それぞれの思いを大事にしながら、今までやってきたことを大事にしつつ、合理的かつ効果的に変えることができました。「ふれあい祭り」終了後は、職員室にも、全員で作上げた充実感があふれていました。



今年もやります！

昨年度の働き方改革フォーラム改め...

「働き方改革ワークショップ」

2月20日（木）

どこ

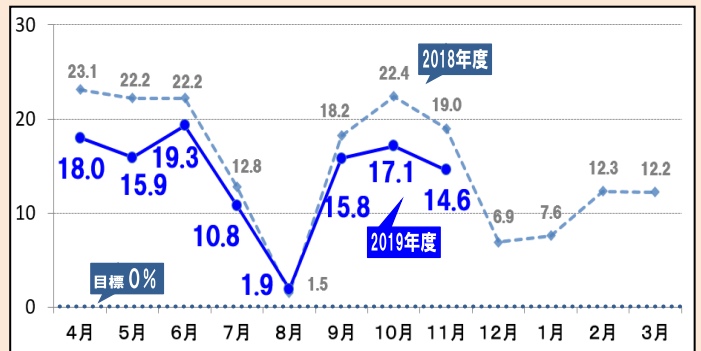
富士通エフサス  
みなとみらい Innovation & Future Center

※詳細は1月に便利帳やSmileでお知らせします

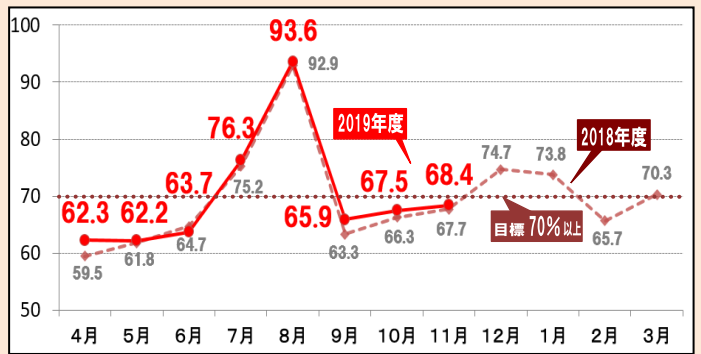
～先生のHappyが子どもの笑顔をつくる～

## (1) 「教職員の働き方改革プラン」達成目標との比較・推移 (2019年12月4日時点)

項目		目標	
時間外勤務月 80 時間超の教職員の割合		0%	
2019年11月実績			
平均	小学校	中学校	特別支援学校
14.6%	8.8%	29.5%	1.1%
😊 前年比 -4.4	😊 前年比 -5.4	😊 前年比 -3.2	😊 前年比 -0.8



項目		目標	
19 時までには退勤する教職員の割合		70%以上	
2019年11月実績			
平均	小学校	中学校	特別支援学校
68.4%	66.5%	68.0%	87.3%
😊 前年比 +0.7	😊 前年比 +1.2	😞 前年比 -0.4	😊 前年比 +0.4



※退勤管理を導入した小・中・義務・特支の教員について、ICカード等による記録から機械的に算出した集計結果。(以下、同様)

## (2) 時間外勤務 (2019年11月) の詳細

### ◇ 時間外勤務の割合 (全校種平均)

時間外勤務 80 時間超が昨年 11 月よりも **約 2 割 減**



### ◇ 時間外勤務の割合 (校種別割合)

全校種で2ヵ月連続で増加!!

月あたり時間外勤務	100時間超	80時間超100時間以下	小計 80時間超	小計 45時間超80時間以下	小計 45時間以下
小学校	1.9%	6.9%	8.8%	43.8%	47.4%
前年比	-1.4	-4.0	-5.4	-0.9	+6.4
中学校	15.6%	13.9%	29.5%	33.5%	37.0%
前年比	-2.4	-0.8	-3.2	+1.8	+1.4
特別支援学校	0.3%	0.8%	1.1%	12.8%	86.0%
前年比	-0.1	-0.7	-0.8	-4.0	+4.6
平均	6.0%	8.6%	14.6%	38.5%	46.8%
前年比	-1.6	-2.8	-4.4	-0.5	+4.8



時間外勤務の割合は、3ヵ月連続で昨年度よりも減少傾向です。また 45 時間以下の割合がどの校種でも、2ヵ月連続で昨年度よりも増えています。昨年度からの継続的な取組の効果や意識の変化が表れているのかもしれませんが、また各学校での実態としては、いかがでしょうか。

※本資料の数値については、項目ごとに四捨五入により端数処理を行っているため、合計と内訳の和とが一致しない場合があります。